

2023年12月期第2四半期 連結決算説明資料

2023年8月

シークス株式会社





INDEX

- 2023年12月期第2四半期 連結決算概要
- 2023年12月期 連結業績予想
- 設備投資・減価償却費
- 中期経営計画の進捗
- 今期のトピックス
- 製造技術関連
- サステナビリティに関する取り組み
- 株主還元
- 免責事項

連結決算概要

連結損益

(単位：百万円)	FY2022 上期		FY2023 上期		増減 (FY2022上期 対 FY2023上期)		為替 影響額	実質増減	
	金額	%	金額	%	金額	%		金額	%
売上高	125,467	100.0	150,612	100.0	25,145	20.0	8,551	16,593	13.2
売上総利益	11,584	9.2	14,551	9.7	2,966	25.6	833	2,132	18.4
販管費	8,126	6.5	8,840	5.9	713	8.8	456	256	3.2
営業利益	3,457	2.8	5,711	3.8	2,253	65.2	377	1,876	54.3
経常利益	3,639	2.9	5,855	3.9	2,215	60.9			
特別損益	△ 367	△ 0.3	3	0.0	370	-			
法人税等	1,707	1.4	1,915	1.3	207	12.2			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,579	1.3	3,941	2.6	2,361	149.5			

為替レート

	FY2022上期	FY2023上期
USD	122.99	134.95
EUR	134.40	145.87
HKD	15.71	17.21
THB	3.65	3.94
RMB	18.96	19.44

連結の範囲

(単位：社)	FY2022	増減		FY2023
	第2四半期末	増加	減少	第2四半期末
連結子会社	22	1	2	21
持分法適用関連会社	2	1	-	3

※2023年第1四半期より連結の範囲を下記の通り変更しております。

連結子会社 +1 (マレーシア販売子会社の新規連結)

▲2 (フィリピン子会社3社を経営統合)

持分法適用関連会社

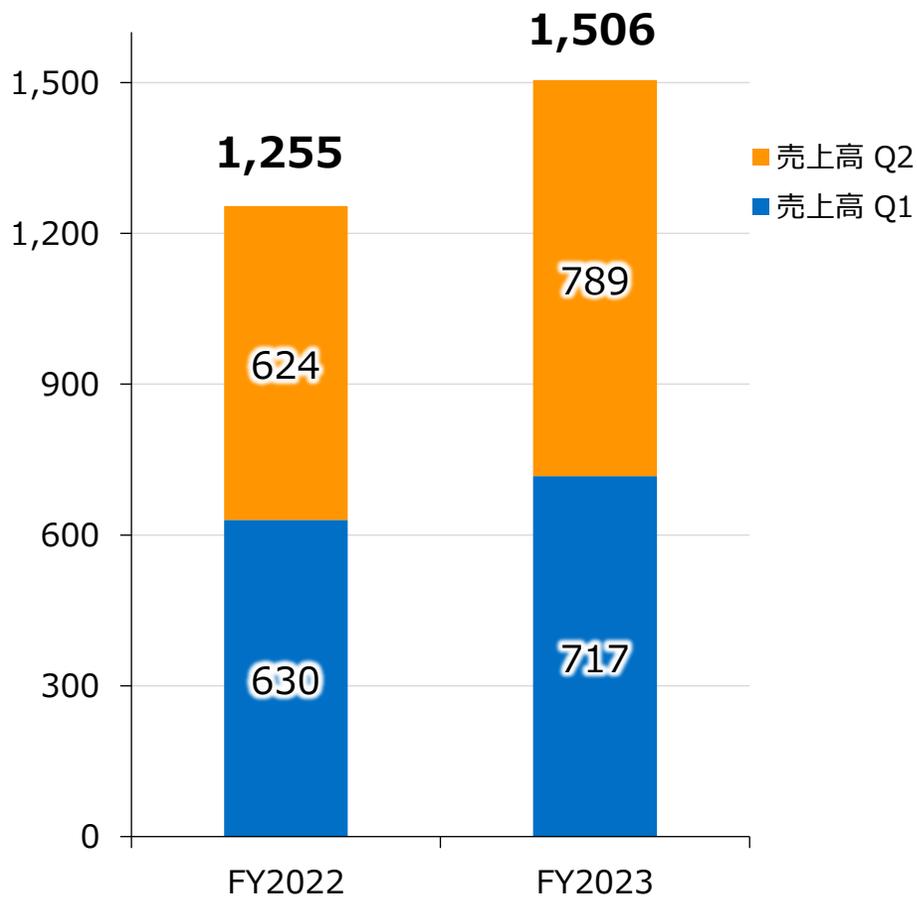
+1 (美的集団との合併会社)



連結決算概要

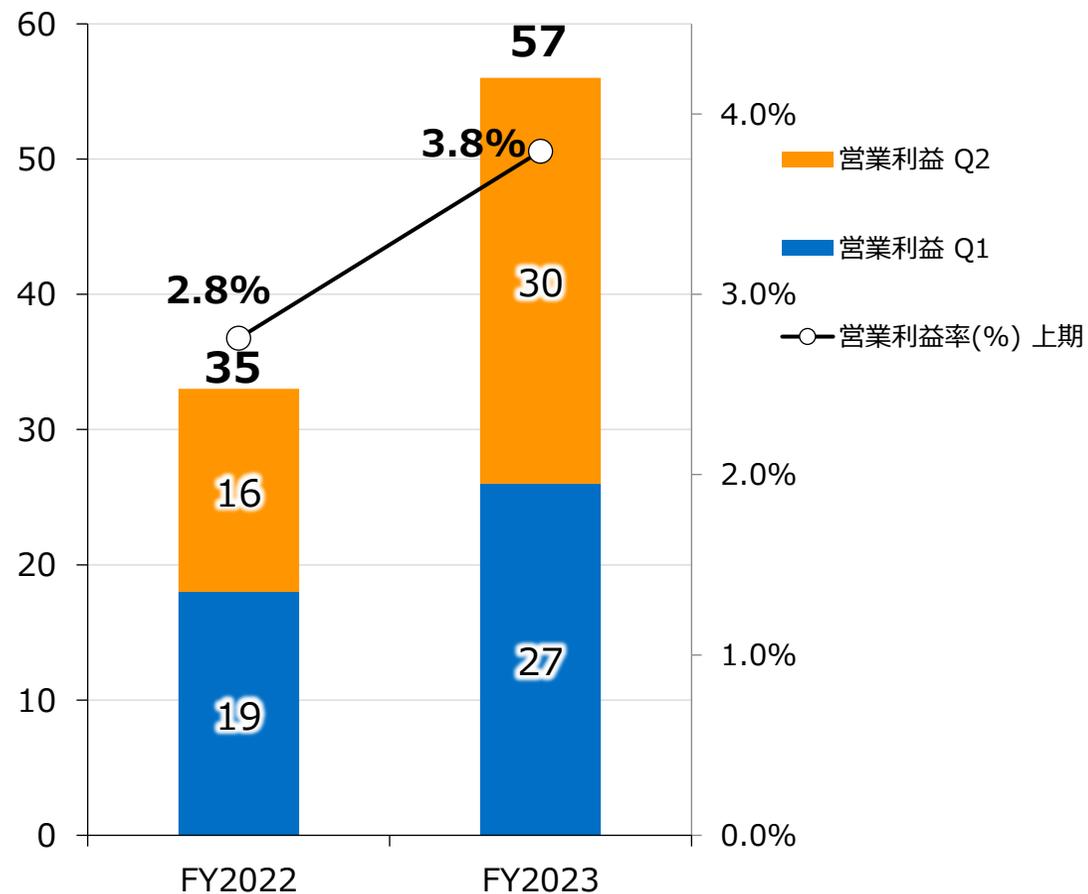
四半期別売上高

(単位：億円)



四半期別営業利益

(単位：億円)

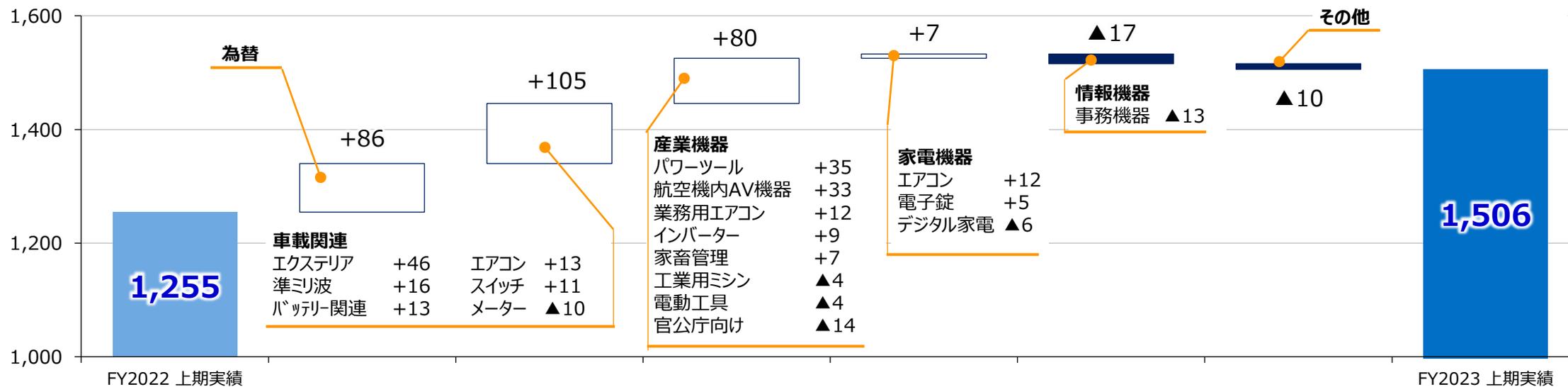
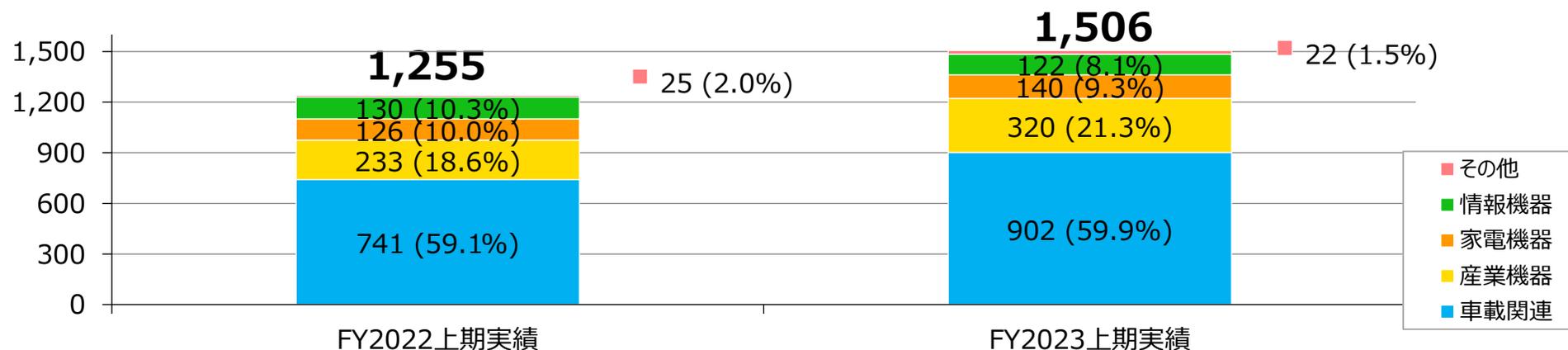




連結決算概要

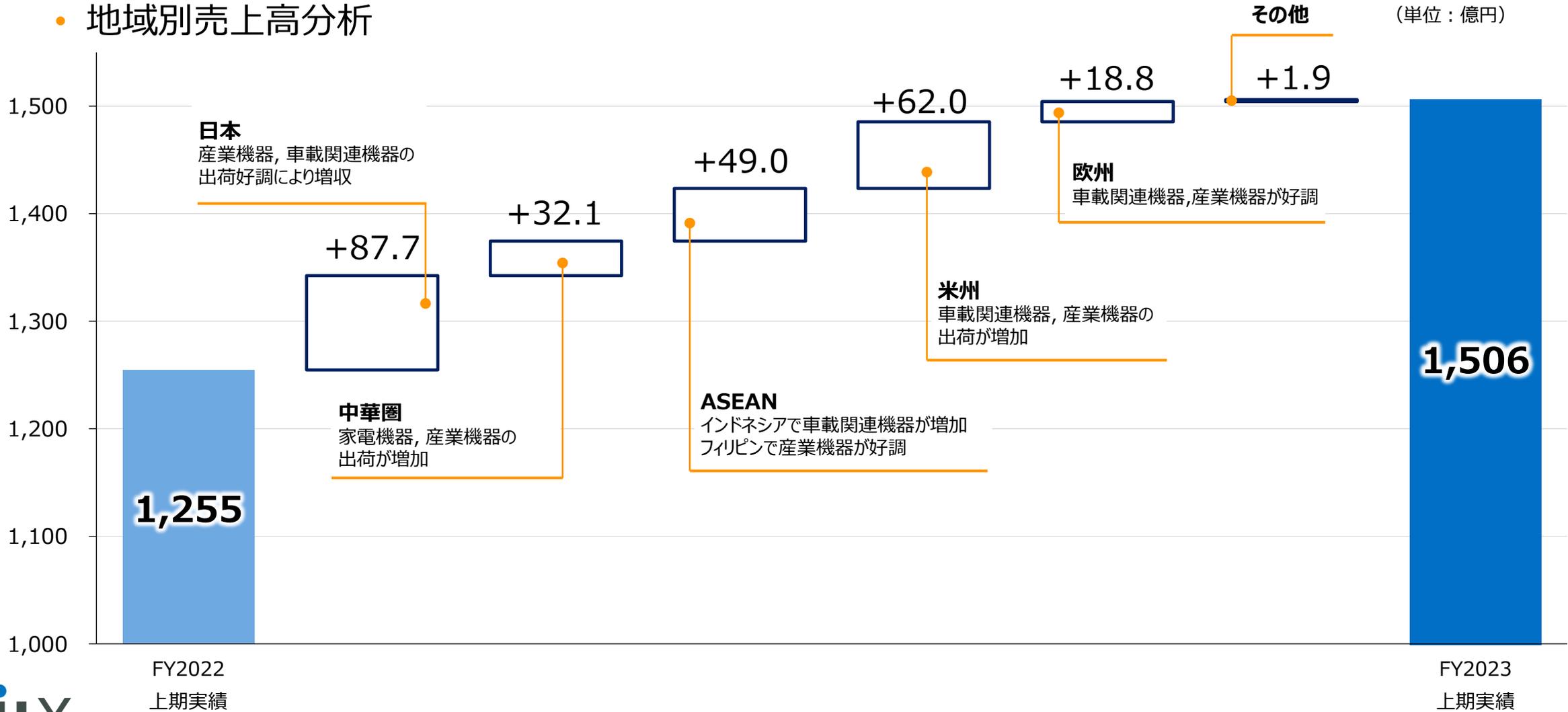
分野別売上高

(単位：億円)



連結決算概要

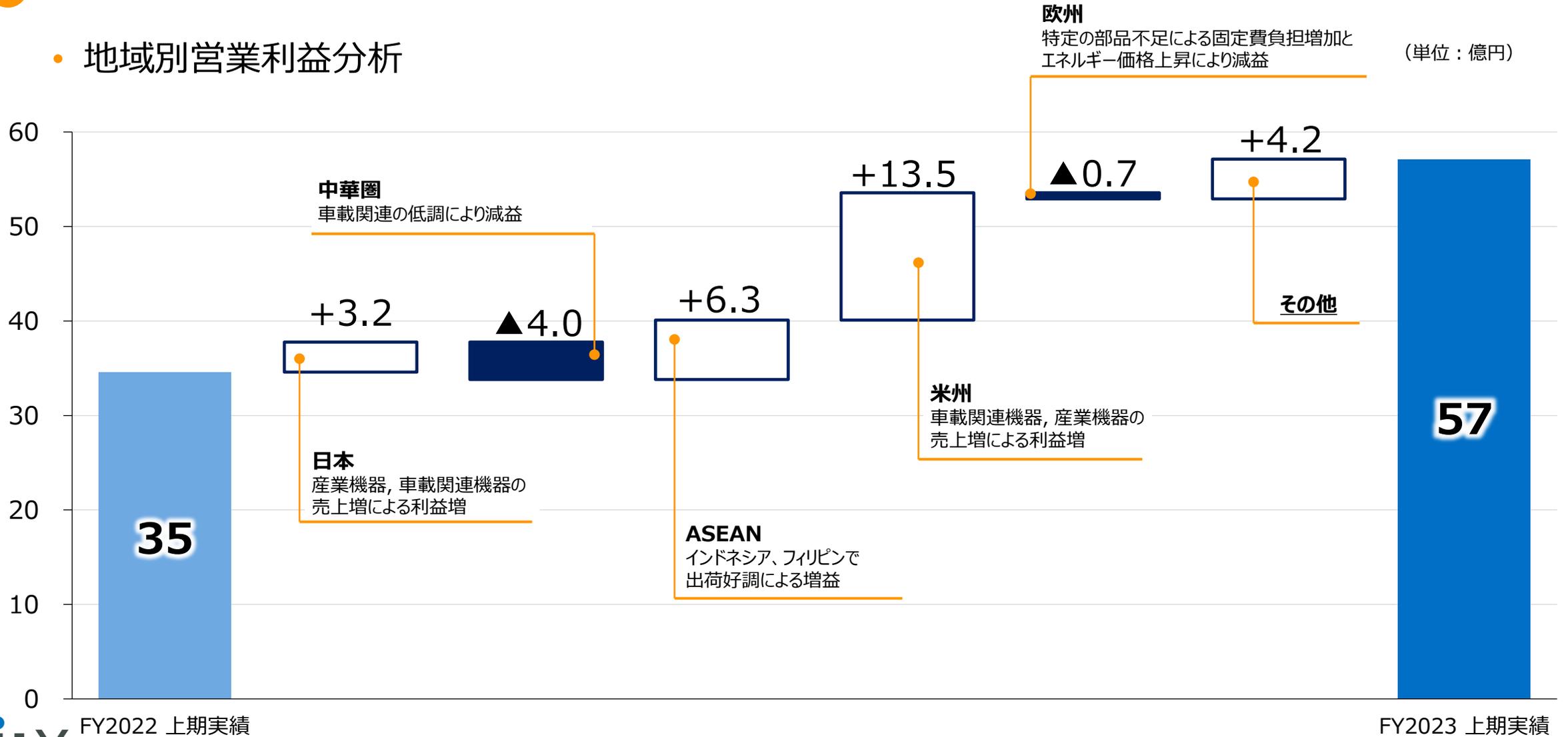
地域別売上高分析





連結決算概要

地域別営業利益分析





連結決算概要

- 販売管理費

(単位：百万円)	FY2022	上期	FY2023	上期	増減	
	金額	売上比(%)	金額	売上比(%)	金額	率(%)
人件費	3,729	3.0	3,960	2.6	230	6.2
旅費・通信費	157	0.1	237	0.2	80	51.0
運賃荷造費	1,550	1.2	1,511	1.0	△ 39	△ 2.5
支払手数料	461	0.4	509	0.3	47	10.3
賃借料	106	0.1	130	0.1	24	22.6
減価償却費	756	0.6	838	0.6	82	10.9
その他経費	1,364	1.1	1,652	1.1	287	21.1
販売管理費	8,126	6.5	8,840	5.9	713	8.8



連結決算概要

- 営業外損益

(単位：百万円)	FY2022 上期	FY2023 上期
受取利息	7	94
受取配当金	6	116
持分法による投資利益	98	11
為替差益	100	61
補助金収入	96	74
物品売却収入	139	153
スクラップ売却益	110	86
その他	141	283
営業外収益	701	880
支払利息	287	591
物品購入費用	93	56
その他	138	88
営業外費用	519	736
営業外損益	181	143

連結決算概要

貸借対照表

(単位：百万円)	FY2022 上期	FY2022 期末	FY2023 上期	増減 (FY2022上期 対 FY2023上期)		増減 (FY2022期末 対 FY2023上期)			
	金額	金額	金額	金額	率 (%)	金額	率 (%)	うち為替影響	実質
流動資産	142,902	150,275	161,064	18,161	12.7	10,788	7.2	9,191	1,596
受取手形、売掛金及び契約資産	53,692	55,091	64,677	10,986	20.5	9,587	17.4	3,059	6,526
たな卸資産	72,141	73,428	75,341	3,200	4.4	1,913	2.6	4,654	△ 2,742
固定資産	54,075	54,894	59,255	5,180	9.6	4,362	7.9	3,328	1,033
資産合計	196,978	205,170	220,320	23,342	11.8	15,150	7.4	12,520	2,629
流動負債	87,662	96,598	97,738	10,076	11.5	1,141	1.2	5,235	△ 4,094
買掛金	37,370	41,733	43,982	6,612	17.7	2,249	5.4	2,252	△ 2
短期借入金	35,632	36,136	35,318	△ 314	△ 0.9	△ 818	△ 2.3	2,013	△ 2,831
固定負債	31,055	31,182	35,466	4,411	14.2	4,284	13.7	1,049	3,234
社債	10,000	10,000	10,000	-	-	-	-	-	-
長期借入金	15,201	15,125	19,290	4,090	26.9	4,165	27.5	891	3,274
負債合計	118,718	127,780	133,205	14,487	12.2	5,425	4.2	6,285	△ 860
純資産	78,260	77,389	87,114	8,855	11.3	9,725	12.6	6,235	3,489
(うち、非支配株主持分)	448	430	453	4	1.0	23	5.3	△ 331	353
負債および資本合計	196,978	205,170	220,320	23,342	11.8	15,150	7.4	12,520	2,629



連結決算概要

- キャッシュフロー

	(単位：百万円)	FY2021 上期	FY2022 上期	FY2023 上期	FY2021 通期	FY2022 通期
営業C/F		2,185	△ 3,435	5,210	△ 8,106	5,567
投資C/F		△ 2,185	△ 4,073	△ 5,805	△ 7,765	△ 8,892
財務C/F		△ 9,089	5,768	△ 887	869	6,676
現金及び現金同等物		15,059	8,894	13,334	9,315	13,652
キャッシュフロー対 有利子負債比率（年）		—	—	—	—	10.3
インタレストカバレッジレシオ（倍）		16.7	—	9.0	—	7.6



連結業績予想

- 連結損益

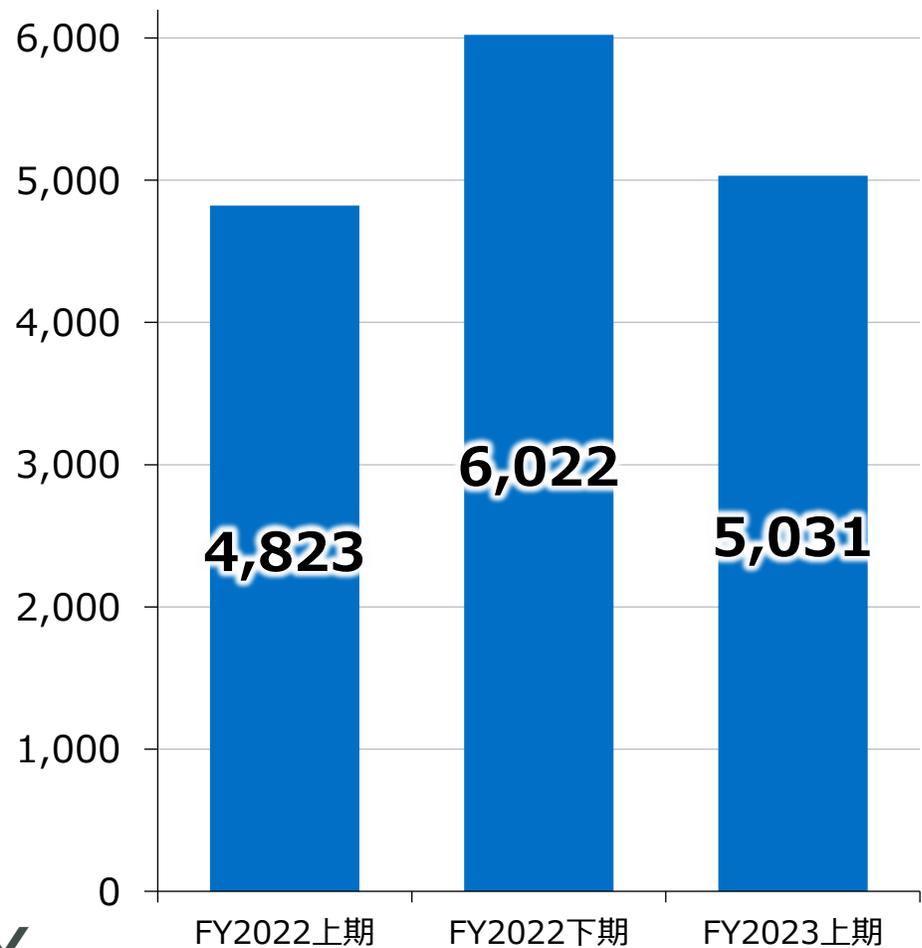
	FY2021 実績		FY2022 実績		FY2023 予想		FY2022 vs. FY 2023	
	(単位：百万円)	%		%		%	金額	率 (%)
売上高	226,833		277,031		300,000		22,968	8.3
営業利益	4,954	2.2	8,929	3.2	11,300	3.8	2,370	26.5
経常利益	5,934	2.6	8,337	3.0	10,200	3.4	1,878	22.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,561	2.0	4,733	1.7	7,700	2.6	3,044	64.3
1株当たり 当期純利益	96円53銭		100円11銭		162円78銭		62円67銭	62.6
想定レート(USD)	¥109.95		¥131.22		¥127.00			



連結決算概要

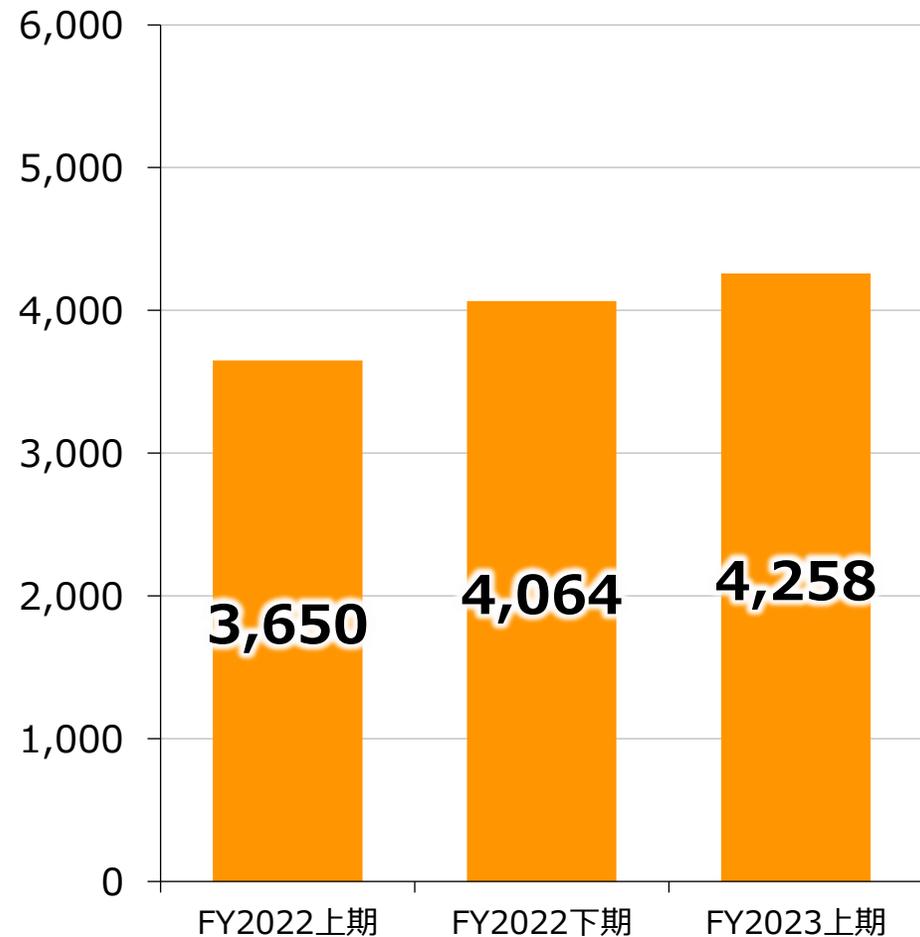
● 設備投資

(単位：百万円)



● 減価償却費

(単位：百万円)



中期経営計画の進捗状況

目標	KPI	目標値 (2023年)	2023年2Q時点
大手グローバル 企業との 取引拡大	非日系顧客との 取引拡大	連結売上高の25%	連結売上高の17.7% 非日系顧客向けビジネスの複数地域への展開
	テクノロジーパートナーとの アライアンス強化	連結売上高50億円	官公庁向けが一巡し前年同期比減少
	医療機器分野の 取引拡大	連結売上高50億円	コロナ影響により前年微増も 今後商材の開拓をグローバルで進める
ビジネスでの 脱炭素社会 への貢献	非コモディティ分野 (車載+産業)の強化	連結売上高の85%	連結売上高の81.1% 産業機器(航空機内AV機器等)、車載機器分野で前年比増加
	CASE関連の 取引拡大	連結売上高350億円	世界各地で欧州顧客との案件増加 他エリアでも商談中
	バッテリー関連の 取引拡大	連結売上高100億円	バッテリー周辺機器案件量産準備中 ポータブル機器、医療機器、モビリティ分野で商談進行中
ダイバーシティ 経営の推進	ローカルマネジメント比率の向上	80%	77.4%
	女性幹部比率の向上	50%	32.3%

トピックス

- タイ工場の拡張完了（5月） 製造キャパは2倍へ。
- バタム工場（インドネシア）で車載量産開始。全11工場で車載対応可能
- 純中華系大手Tier1へ完成品モジュール成約（中華系自動車メーカーへ直接納入開始）
- 韓国系企業へアプローチ強化・商談中
- EV Battery用保護回路モジュール成約
- 車載部品ビジネス（Ignition coil、TPMS etc）深耕
- 電子部品ビジネス（センサー、コネクター etc）開始
- ケミトロニクス分野への挑戦（ナノテク分野 etc）
- 共同設計製造サービスの拡大
- 自動化・省力化設備の内製化を拡大



当社タイ工場新棟

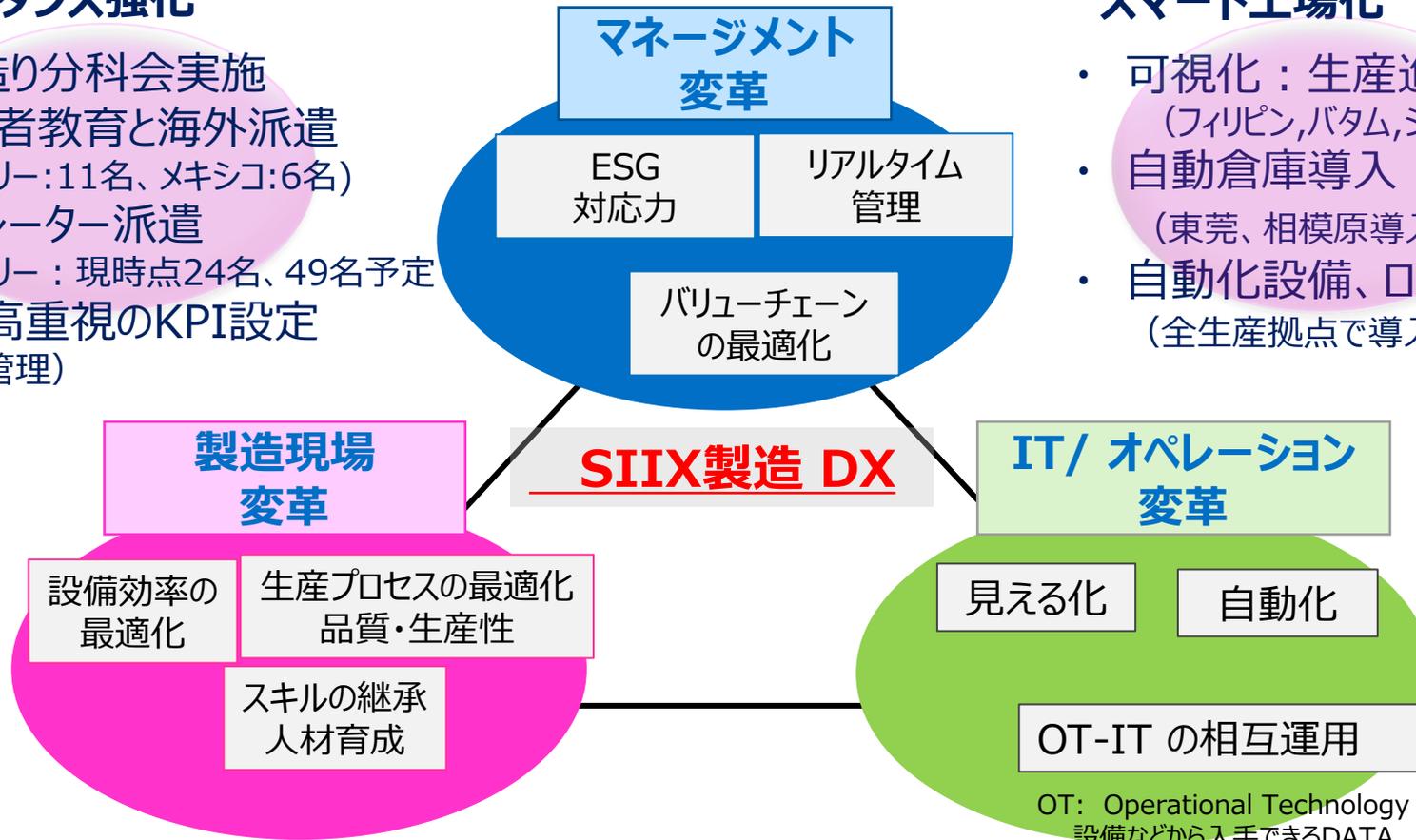
シークス製造工場の基本方針と2023年の活動

製造DX(Digital transformation)の推進継続

デジタル技術を活用し3つの変革を推進する

コアコンピタンス強化

- モノ造り分科会実施
- 技術者教育と海外派遣
(ハンガリー:11名、メキシコ:6名)
- オペレーター派遣
(ハンガリー:現時点24名、49名予定)
- 出来高重視のKPI設定
(UPH管理)

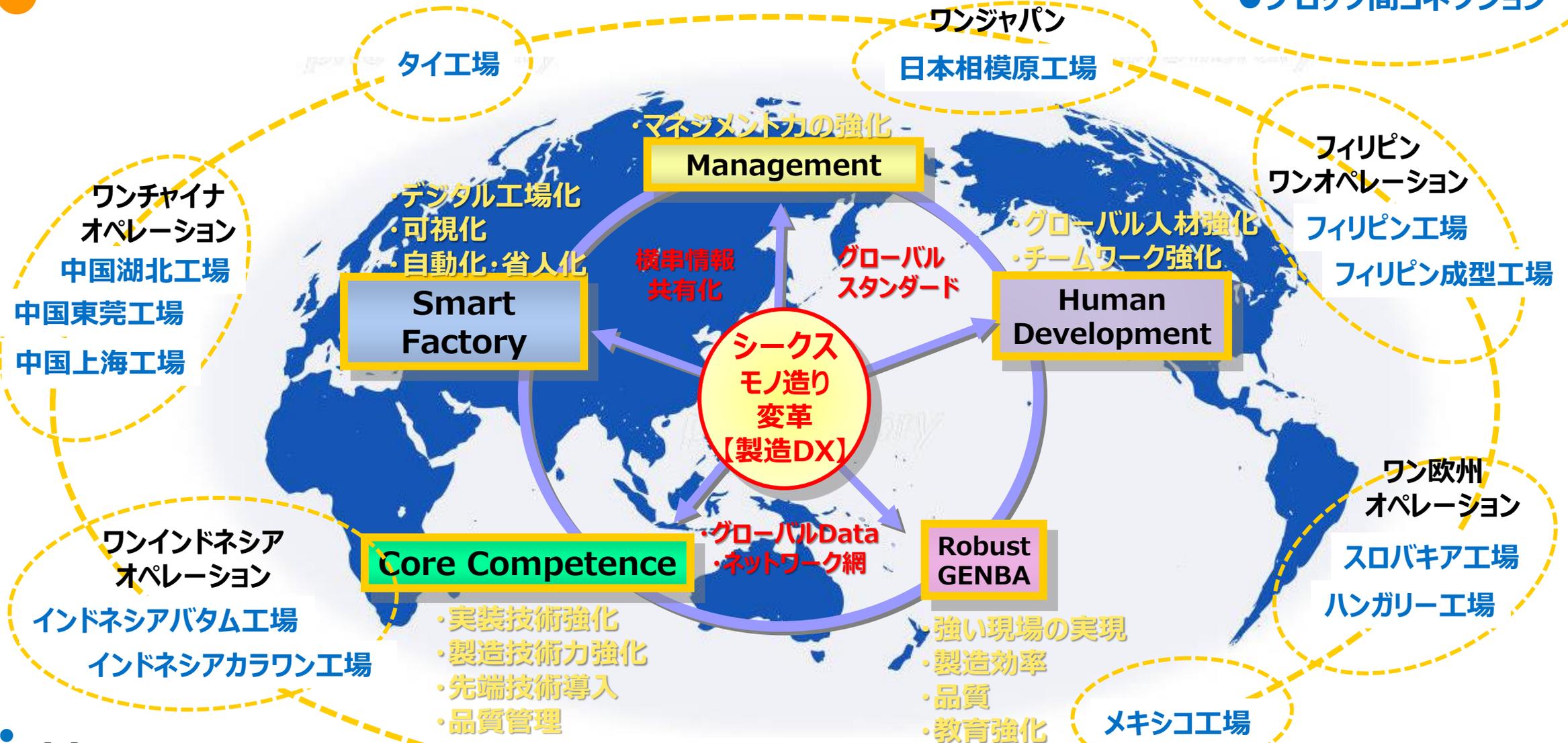


スマート工場化

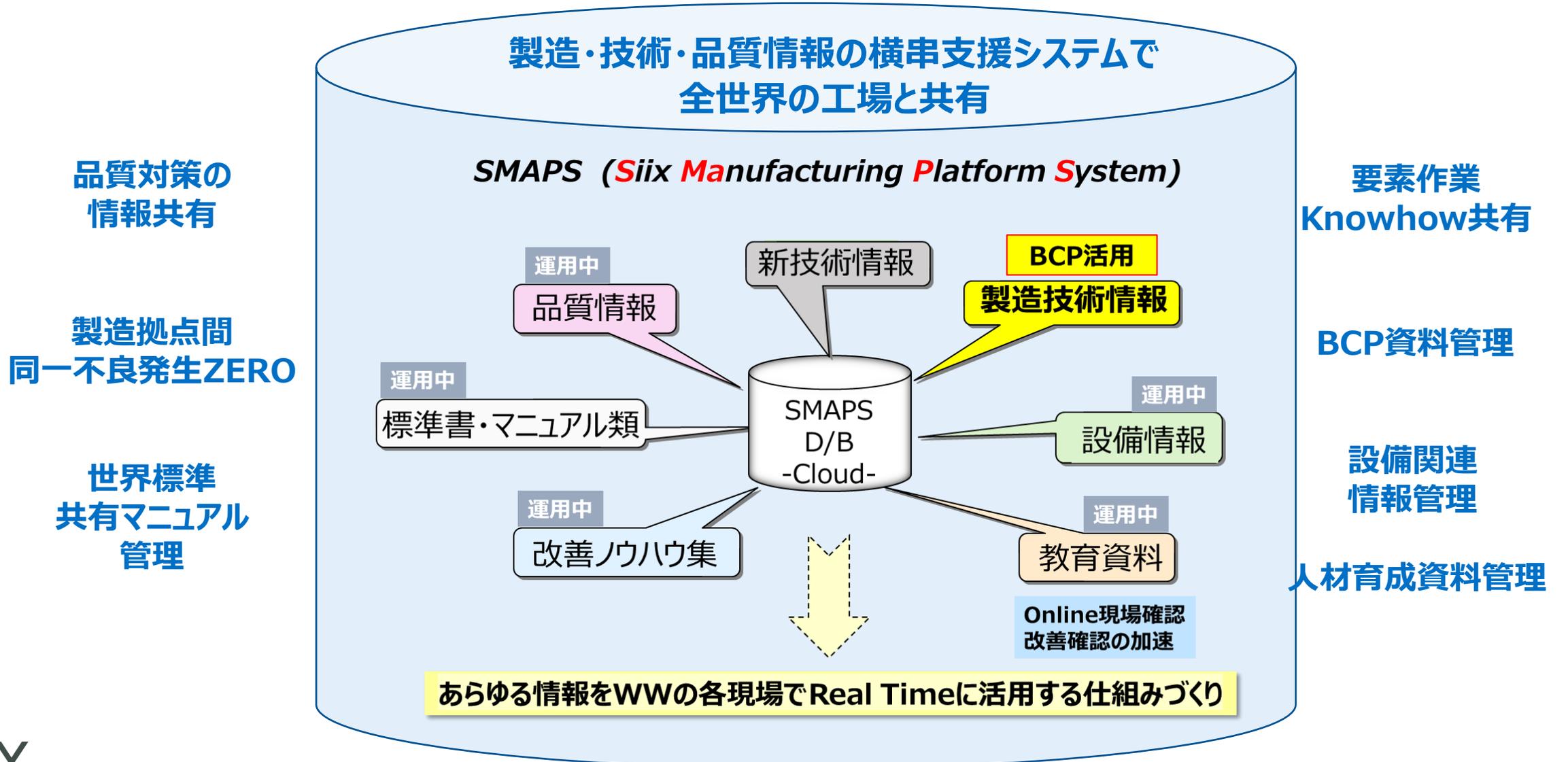
- 可視化：生産進捗モニター設置
(フィリピン、バタム、ジャカルタ、タイ、相模原設置済)
- 自動倉庫導入
(東莞、相模原導入済、フィリピン、メキシコ導入予定)
- 自動化設備、ロボット導入
(全生産拠点で導入済)

シークスモノ造り製造DXに向けての重点施策

- ブロックオペレーション
- ブロック間コネクション



工場間連携を支える仕組みの充実

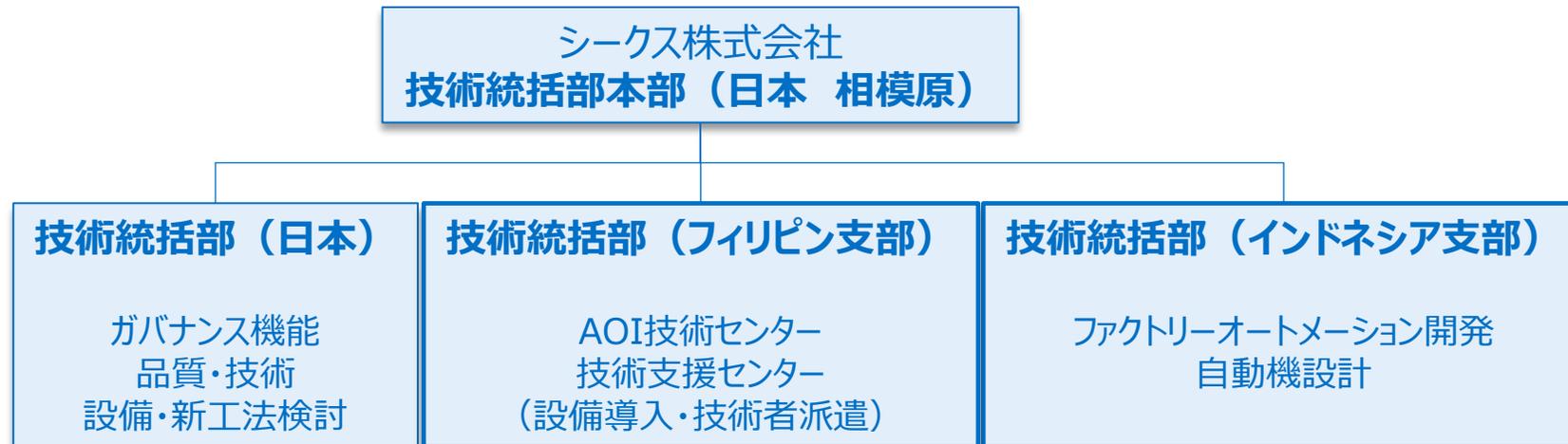


スマートファクトリーへの取り組み

グローバル体制による自動化の加速

自動機設計開発から導入 → 共通設備の展開・設備導入支援体制構築

FADC (Factory Automation Development Center) 設備設計部隊設立 (インドネシア)
HRDC (Human Resource Development Center) 技術支援部隊の拡充 (フィリピン)
自動機海外展開体制の構築 (技術統括部、FADC、HRDC)



スロバキア

ハンガリー

バタム

ジャカルタ

フィリピン

タイ

東莞

上海

湖北

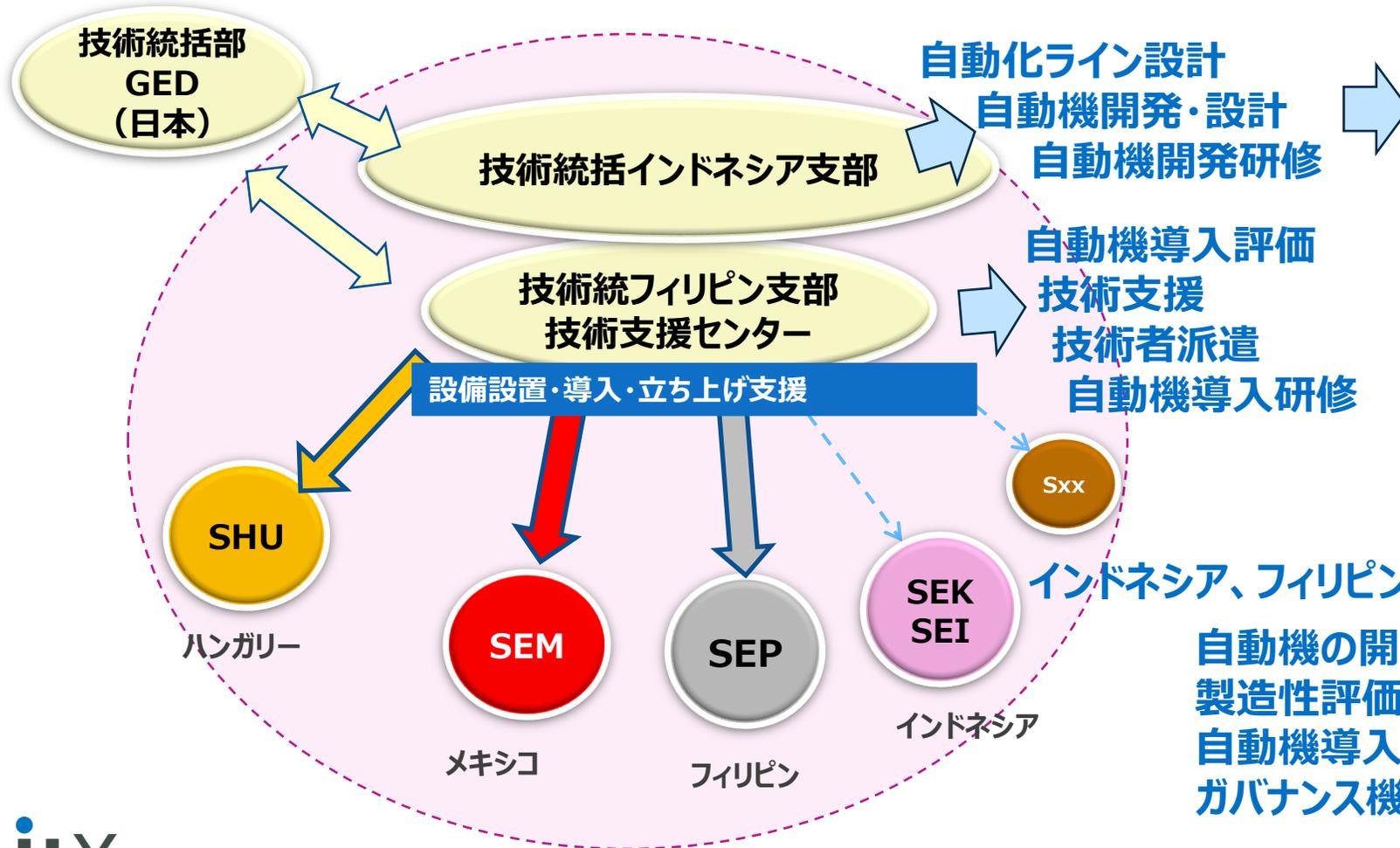
メキシコ

相模原

インドネシア自動機開発センター（FADC）活動

FADC体制

自動機の内製化とグローバル導入



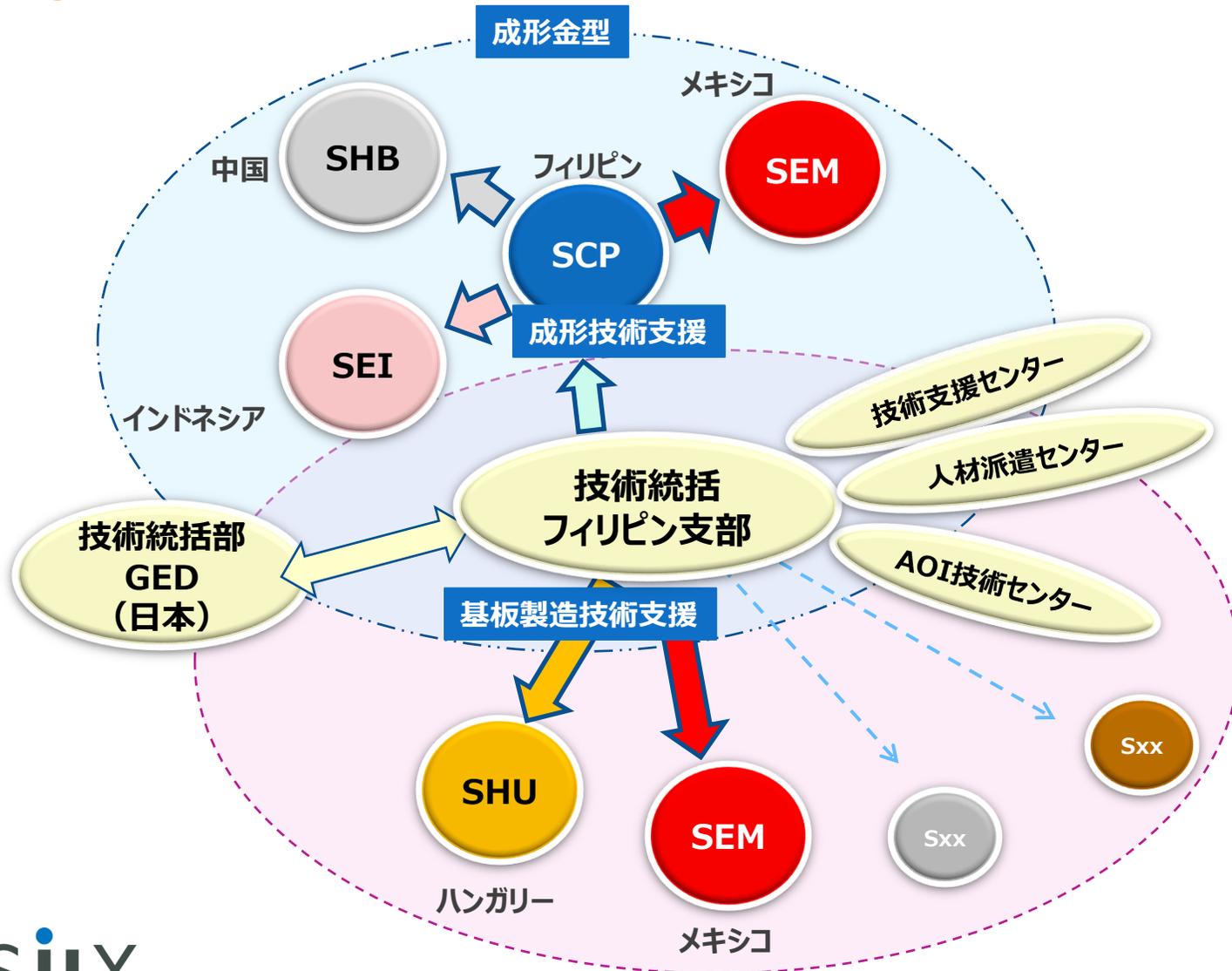
技術統括部（日本）	
FADC管理者（インドネシア）	
ドラフター (機構設計)	2名
電気設計	2名
PLCプログラム	2名
書類管理	1名

インドネシア、フィリピン、メキシコ、日本間のプロジェクト開始

自動機の開発設計
 製造性評価と導入支援
 自動機導入と量産
 ガバナンス機能

(インドネシア)
 (フィリピン)
 (メキシコ)
 (日本)

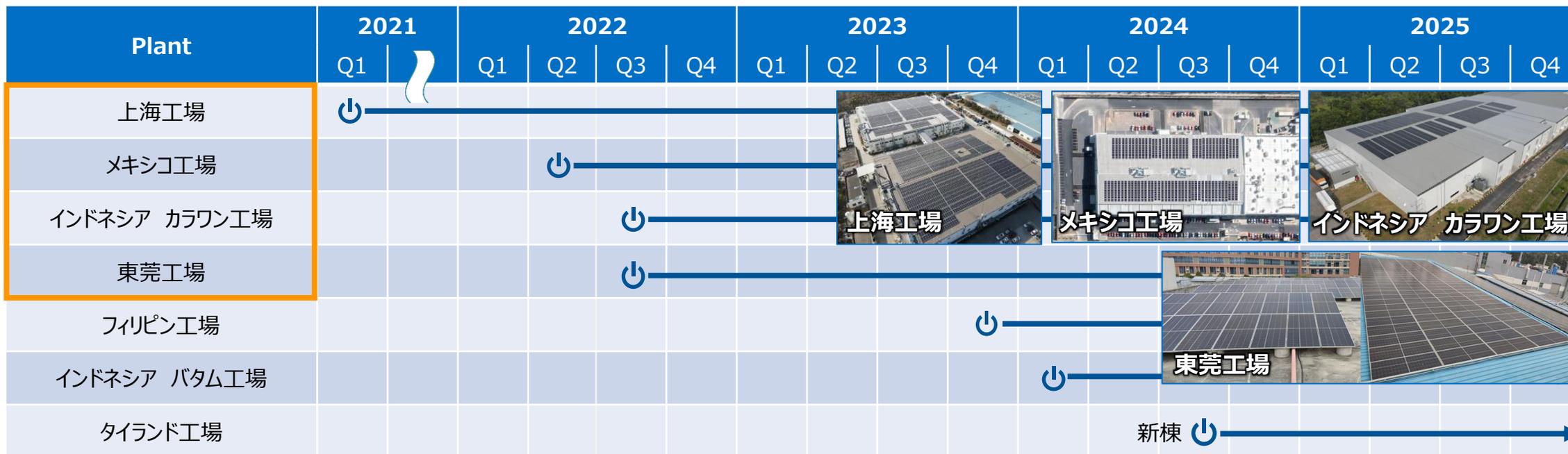
フィリピン人材開発センター（HRDC）活動



- **フィリピン技術者のグローバル支援**
ハンガリー工場：11名
メキシコ 工場：6名
計 17名の技術者派遣中
- **フィリピン人材派遣**
作業者の派遣を開始
ハンガリー工場へ24名派遣済み
計49名の派遣を予定
- **フィリピンAOI技術センター3名から5名**
体制に強化しハンガリー工場と
メキシコ工場を支援中

CO2削減活動

太陽光発電 ソーラーパネル設置状況



再生可能エネルギー使用状況

欧州エリア
100%
再生可能エネルギー使用

エリア	使用率	電力	使用開始時期
ドイツ営業所	100%	風力・太陽光	2021年～
スロバキア工場	100%	風力・太陽光・水力・バイオマス	2023年～
ハンガリー工場	100%	風力・太陽光・水力・バイオマス	2023年～
フィリピン工場	45%	風力・太陽光	2022年～
日本工場	100%	非化石証書	2023年～

サステナビリティに関する取り組み

CO2総排出量削減

Environment

	削減目標 (2030年)	2021年 実績	2022年 実績	削減活動
SCOPE 1	2021年比 42%削減	924t	1,658t	・社用車のEV化など有効な削減方法を検討中
SCOPE 2		69,484t	2,553t 前年比 96.4%減	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネルの設置（上海、東莞、メキシコ、インドネシア）今後、タイ、フィリピンに設置。 ・再生可能エネルギー由来の電力へ切替（欧州・相模原工場100%、フィリピン45%） →再エネ利用率 21年度 3.6% 22年度 6.6% 23年上期 14% ・非化石証書を購入し、非再エネ電力をオフセット →欧州、日本以外でCO2排出ゼロとなる。 ・省エネ活動の促進 （はんだ硬化炉の停止時間の省エネ実施、エアコンの集中管理による省エネ効果検討） ・生産設備の省エネモデルへの切替（消費電力量を設備投資の際基準に追加）
SCOPE 3	2021年比 25%削減	583,026t	601,690t	・今後、仕入先に対し定期的ヒアリングを行い、排出データの精度向上およびサプライチェーン全体でのCO2排出量削減を目指す。
TOTAL		653,434t	605,901t	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者保証取得（SCOPE1,2,3） ・CDPスコア 気候変動 B-獲得（2021年度）

サステナビリティに関する取り組み

Social

社会貢献

トルコ・シリア大地震に際し、国連UNHCR協会を通じて寄付を実施
スロヴァキア国立歌劇場によるオペラ大阪公演を主催（2017年以降4回目）
「“OSAKA 子どもの夢”応援事業」へ2023年1月実施に続き2024年も協賛表明

人材活躍

ローカルマネジメント比率

全拠点の幹部*におけるローカル幹部の比率

*幹部：
マネージャー相当以上

目標値

80%

Q2末
時点

77.4%

女性幹部比率

全拠点の幹部*における女性幹部の比率

目標値

50%

Q2末
時点

32.3%

改訂会社法・コーポレートガバナンスコードへの対応進捗

Governance

ダイバーシティ

2023年株主総会にて、女性取締役（社内）、女性監査役（社外）を選任
執行役員（取締役兼務者含む）では、18名中3名が女性

情報開示

株主総会招集通知における役員のスキルマトリクスの更なる充実、議決権行使のための電子プラットフォームの設置等に関しては既に対応済み

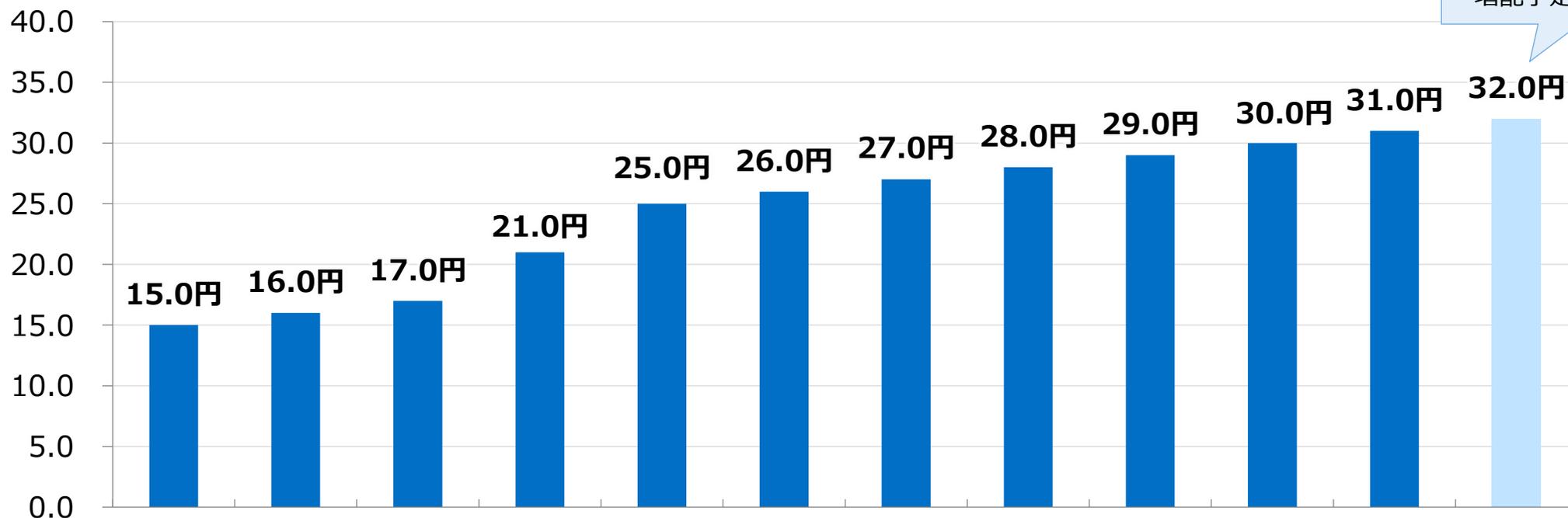
リスク管理

会社の持続的成長・中計達成のためリスクマネジメントへの対応強化。具体的には、グループ幹部全体が参加する戦略会議にて
全社ベースでのリスクの洗い出しと対応強化を徹底（戦略リスク、財務リスク、ハザードリスク、オペレーショナルリスク）

当社のサステナビリティに関する取組について、詳しくは [統合報告書2023](#) をご覧ください。

株主還元

年間配当



17期連続
増配予定

	'12/12	'13/12	'14/12	'15/12	'16/12	'17/12	'18/12	'19/12	'20/12	'21/12	'22/12	'23/12 (予想)
1株当たり配当金 (円)	15.0	16.0	17.0	21.0	25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0	31.0	32.0
連結配当性向 (%)	23.0	22.7	19.4	15.2	18.7	18.1	20.5	35.8	79.5	31.1	31.0	19.7
自己株式取得 自己株式取得金額	-	-	-	-	508,900株 約20億円	-	203万株 約40億円	-	-	-	-	-



免責事項

- 当資料に掲載されている情報は、シークス株式会社（以下、当社）の財務情報、経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。また、当資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、当資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。
- 当資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によりデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わずに一切責任を負うものではありません。
- 当資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。